スウェーデン北部のキルナで念願のオーロラ観賞



帰国直前に色々お世話になった親友と

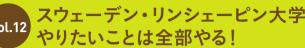
おうと、 でになりました。 の授業を全て任せていただけるま 終的には担当の先生にの分1コマ でまずは日本に興味を持ってもら とができず、苦労しました。そこ いう感じでなかなか生徒と話すこ 習当初は「なにこの外国人?」と したりして徐々に距離を縮め、最

サークルに所属していました。 元々吹奏楽をやっていたので、 課外活動としてブラスバンド 面白かったです。 分野が同じ分、話していてとても 就きたい学生が来ていたので興味 教員志望の学生や教育系の仕事に していた教育科学部は、各国から

です。 中学生もある程度は英語を使いこ 英語が母国語ではない国ですが、 校で、英語の先生のアシスタント なすことができます。しかし、 として20日間、 「Teaching practice(教育実習)」 特に印象に残っている授業は 私の場合は現地の公立中学 日本の文化や食事を紹介 実習を行いました。

> ン人で、 ウェーデン語で行われます。孤独 楽を続けるために飛び込みました きる精神力がついた気がします。 とができました。これから先、ど ンを取り2回ステージにも立つこ か譜面を通じてコミュニケーショ 感すら感じる環境でしたが、何と が、なんと私以外全員スウェーデ んな逆境に立たされても何とかで 当然練習はすべてス

生活です、 だったと感じています。留学でなく 用意しました。挑戦の数だけもち 戦してきました。特に留学に関し と強く感じます。一度しかない学生 ち続け諦めずにやり遂げてほしい ても構いません、今何かに挑戦し りあげているかけがえのない経験 てみるとその全てが今の自分をつく ろん失敗もありましたが、振り返っ つつ留学のための資金は全額自分で ようとしている人は、その志を持 くために「やりたいことは全部」挑 私は在学中、 外部の英語試験の勉強をし 自分自身で最高のもの 自分の「個」を磨 世界へ飛び出せ 明大生 一協定校留学日記一





文学部4年 石川 瑛士

月までの約9か月間、スウェーデ

私は2015年8月から今年5

ですが、

少し中心街を外れると森

ウェーデンでも比較的大きい都市 ました。リンシェーピンはス ンのリンシェーピン大学に留学し



広大な敷地を持つキャンパスは常に学生で賑わう

の中でもリンシェーピン大学を選 実している点が非常に魅力的だっ んだ理由は、授業以外の活動も充 を軸に協定校を選定しました。そ

多い国です。この考えは、 受け入れが欧州で一番 住みやすい国でした。 関係なく平等であるべきであると 尊重し男性も女性も人種も年齢も ンは人口対比の移民の た。また、スウェーデ 進んでいると感じまし ては日本の数十年先を 特に男女の平等に関し 等」を重視する非常に いう考え方が根付いているからだ スウェーデンは「平 個人を

東京で生まれ育った私にとっては 点の星空を見ることができました。 や小麦畑が広がっていて、夜は満

この上なく贅沢な大自然でした。

力の一つでした。 化が根付いているのもこの国の魅 相手にはとてもシャイですが仲良 と感じました。国民性は少し日本 くなるととにかくよく喋ります。 に似ていると思います。初対面の さて、私は「教育を学べること」 - KAというティータイムの文

> した。 友人を作りやすい環境でもありま 留学をすることを必須としたコー に富んだ環境で学ぶことができま ジアからの留学生も多く、 たからです。国際交流が盛んな大 スもあるので、 した。また、日本語を学び日本に い自主的に学ぶことが求められる 学習面に関しては、日本とは違 欧州の留学生はもちろんア スウェーデン人の

必要がありました。特に私の在籍 分で気になる論文を読んだりする ちでグループワークをしたり、 度しかなく、 授業形態で最初は戸惑いました。 というのも授業自体は週に3回程 あとの時間は自分た 自

Profile

石川 瑛士 Akito Ishikawa

1994年生まれ東京都出身 文学部文学科英米文学専攻4年 所属ゼミ: 久保田俊彦ゼミ(コーパ

ス言語学) 「先生のための教育辞典EDUPEDIA」 で活動中



ブラスバンドサークルのクリスマス公演

み続けていきます。 きるよう、これからも「前へ」進 学の代表として広く社会に貢献で 得た全ての経験を活かし、明治大 にしてください。私は明治大学で

務室の皆様、資金面の援助をして においてお世話になった国際教育事 くださった父母会の皆様をはじめ 最後になりましたが、全ての面



57

THE QUARTERLY MEIII THE QUARTERLY MEIJI